

●一般男子複 A(10月5日 ウイングアリーナ刈谷)

川原(はりーあっぷ)・稲葉(FLIGHT)VS 高平(スペースシャトル)・守屋(有心館)



稲葉・川原

予選リーグから3ゲームに入る激戦が続く今大会。決勝に複で過去に本大会で入賞歴のない4選手が決勝に残るフレッシュな顔ぶれとなった。

全国大会の単で活躍した川原が豊富な運動量で打ち込み、作ったチャンスを稲葉が決める形で決勝進出。一方の

ペアも瞬発力にあふれる攻撃を見せる高平と、確実性の高いプレーで守屋がまとめて、激戦区を勝ち上がってきた。

が、決勝は守屋の足が試合開始早々に痙攣を起こし、無念の棄権。競り合いかが続いた本大会を象徴する幕切れとなった。



守屋・高平



3位 青山(FLIGT)・田畠(紫電会)

長身からのスマッシュと力強いドライブを駆使。



3位 國分・鳥居(FLIGT)

素早いローで低空戦を展開して安定の戦いぶり。



●一般女子複 A(10月5日 ウイングアリーナ刈谷)

岩野・岸本(RISE. BC) VS 塩飽・松井(FLIGT)



岩野・岸本

昨年優勝の岩野・岸本に、チームとしても急上昇している塩飽・松井が挑む一戦。松井が後衛で果敢に攻め、塩飽が前で決める形でラリーを展開。岩野・岸本は堅いディフェンスで対抗し、前後の揺さぶりにも崩されず、チャンスをうかがう。岸本が鋭い攻めのレシーブで相手を走らせ、速い詰めで隙をつく岩野のプッシュを沈め、優位に試合を進めていく。

終盤まで長いラリーが続く中で、第2ゲーム目岸本・岩野が 20—17 のマッチポ

ント。しかし、ここで松井・塩飽の意地のラリー。幾度返されても、攻撃を続ける松井、カウンターをつないでしのぐ塩飽、粘りで制したラリーは、決まった後、4選手ともうずくまるほどの激しいものだった。

再開後、岸本がサーブレシーブを決め、激闘の末に連覇を決めた。



塩飽・松井



3位 大山・二宮(フレスカ)

長年大会を引っ張ったペア。勝負所で強さを発揮し、新戦力の台頭を簡単に許さない活躍。





一般男子 B 複

優勝 永野・関(佐布里)↑

2位 山田・清水(振甫クラブ)←



一般女子 B 複

優勝 鈴木・旧井(有心館)↑

2位 竹中・鬼頭(ちょんばど)→





30 男子複

優勝 貝原・森田↑

(WISTERIA・CHUBU BC)

2位 比留木・矢野(SMAGAN)→



40 男子複

優勝 中居・糸山↑

(岩倉パラレル・岐大 BC)

2位 中野・山本←

(CHUBU BC・Bud Bud)



45男子複

優勝 板崎・百丸←(RHBT・WISTARIA)
2位 諏訪・中島↑(BUTCHERS・貴船)